

【先進医療B】

令和4年6月30日時点における先進医療に係る費用

令和4年度実績報告(令和3年7月1日～令和4年6月30日)

整理番号	告示番号	技術名	適用年月日	総合計(円)	先進医療総額(円)	平均入院期間(日)	年間実施件数(件)	実施医療機関数(機関数)
1	2	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法 早期乳がん(長径が一・五センチメートル以下のものに限る。)	平25. 8. 1	-	-	-	0	-
2	3	インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	平25. 8. 1	11,330,860	9,326,110	-	7	5
3	4	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	平26. 1. 1	-	-	-	0	-
4	5	全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法 全身性エリテマトーデス(初回の副腎皮質ホルモン治療を行っている者に係るものに限る。)	平26. 8. 1	5,557,494	136,909	33.2	5	4
5	7	術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法 切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん(HER2が陽性のものに限る。)	平26. 12. 1	-	-	-	0	-
6	8	LDLアフェレシス療法 閉塞性動脈硬化症(薬物療法に抵抗性を有するものであり、かつ、血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類ⅡB度以上のものに限る。)	平27. 11. 1	8,387,452	2,602,980	68.0	2	1
7	9	骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法 腫瘍、顎骨骨髄炎、外傷等の疾患による広範囲の顎骨又は歯槽骨欠損(上顎にあっては連続した三分の一程度以上の顎骨欠損又は上顎洞若しくは鼻腔への交通が認められる顎骨欠損に限り、下顎にあっては連続した三分の一程度以上の歯槽骨欠損又は下顎区域切除以上の顎骨欠損に限り、歯槽骨欠損にあっては歯周疾患及び加齢による骨吸収を除く。)	平28. 1. 1	-	-	-	0	-
8	10	テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	平28. 1. 1	18,314,230	14,333,070	0.4	18	13
9	11	ハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術 再発翼状片(増殖組織が角膜輪部を超えるものに限る。)	平28. 1. 1	1,220,400	583,040	3.0	4	2
10	12	自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療 胸髄損傷(損傷後十二月以上経過してもなお下肢が完全な運動麻痺(米国脊髄損傷協会によるAISがAである患者に係るものに限る。))を呈するものに限る。)	平28. 4. 1	-	-	-	0	-
11	13	重粒子線治療 肝細胞がん(初発のものであって、肝切除術、肝移植術、エタノールの局所注入、マイクロ波凝固法又はラジオ波焼灼療法による治療が困難であり、かつChild-Pugh分類による点数が七点未満のものに限る。)	平28. 6. 1	25,094,780	24,500,000	-	7	1
12	14	重粒子線治療 非小細胞肺癌(ステージがⅠ期であって、肺の末梢に位置するものであり、かつ肺切除術が困難なものに限る。)	平28. 7. 1	9,637,330	9,163,000	2.7	3	3
13	15	ゲムシタビン静脈内投与及び重粒子線治療の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、TNM分類がT4のものに限る。)	平28. 10. 1	22,364,652	20,280,000	6.8	6	2
14	16	ゲムシタビン静脈内投与、ナブ-パクリタキセル静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う膵臓がん	平28. 10. 1	49,601,218	2,042,260	14.7	15	5
15	17	治療抵抗性の子宮頸がんに対するシスプラチンによる閉鎖循環下骨盤内非均衡灌流療法 子宮頸がん(術後に再発したものであって、同時化学放射線療法に不応かつ手術が不能なものに限る。)	平28. 11. 1	-	-	-	0	-
16	19	術後のカペシタビン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法 小腸腺がん(ステージがⅠ期、Ⅱ期又はⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	平29. 4. 1	8,312,336	6,469,076	1.0	11	10
17	20	S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	平29. 4. 1	17,989,813	5,289,197	4.0	26	13

整理番号	告示番号	技術名	適用年月日	総合計(円)	先進医療総額(円)	平均入院期間(日)	年間実施件数(件)	実施医療機関数(機関数)
18	21	S-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃がん	平29. 4. 1	-	-	-	0	-
19	22(1)	陽子線治療 根治切除が可能な肝細胞がん(初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。) 【陽子線治療を実施する施設】	平29. 6. 1	27,162,661	24,000,000	4.9	15	6
20	22(2)	陽子線治療 根治切除が可能な肝細胞がん(初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。) 【外科的治療を実施する施設】	平29. 6. 1	-	-	-	0	-
21	23	シクロホスファミド静脈内投与及び自家末梢血幹細胞移植術の併用療法 全身性強皮症(ステロイド又は少なくとも一種類のステロイド以外の免疫抑制剤に抵抗性を有するものに限る。)	平29. 8. 1	11,539,394	1,846,000	73.0	2	1
22	24	自家骨髄単核球移植による下肢血管再生治療 バージャー病(従来治療法に抵抗性を有するものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	平29. 10. 1	2,247,600	752,700	9.3	3	1
23	26	術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん(ステージがⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	平30. 2. 1	243,930,757	1,044,974	1.0	681	36
24	27	TRPV2阻害薬経口投与療法 心不全(十三歳以上の患者に係るものであって、筋ジストロフィーによるものに限る。)	平30. 2. 1	63,985,019	213,320	191.9	14	10
25	28	重粒子線治療 直腸がん(術後に再発したものであって、骨盤内に限局するものに限る。)	平30. 6. 1	-	-	-	0	-
26	29	腎悪性腫瘍手術により摘出された腎臓を用いた腎移植 末期腎不全(慢性維持透析が困難なものに限る。)	平31. 2. 1	1,506,140	1,506,140	-	10	1
27	30	反復経頭蓋磁気刺激療法 薬物療法に反応しない双極性障害の抑うつエピソード	平31. 3. 1	15,433,570	15,032,770	-	15	3
28	31	自己軟骨細胞シートによる軟骨再生治療 変形性膝関節症(軟骨欠損を伴うものであって、高位脛骨骨切り術の適応となるものに限る。)	平31. 4. 1	17,982,218	12,135,558	33.3	3	1
29	32	自家末梢血CD34陽性細胞移植による下肢血管再生療法 下肢閉塞性動脈硬化症(疼痛又は潰瘍を伴う重症虚血を呈するものであって、維持透析治療を行っているものに限る。)	令1. 7. 1	-	-	-	0	-
30	33	不可逆電気穿孔法 肝細胞がん(肝内における長径三センチメートル以下の腫瘍が三個以下又は長径五センチメートル以下の腫瘍が一個であって、肝切除術又はラジオ波焼灼療法による治療が困難であり、かつChild-Pugh分類による点数が九点以下のものに限る。)	令1. 8. 1	2,504,370	1,927,620	4.5	2	1
31	34	プローブ型共焦点レーザー顕微内視鏡による胃上皮性病変の診断 胃上皮性病変	令1. 11. 1	-	-	-	0	-
32	35	ボツリヌス毒素の膀胱内局所注入療法 神経因性排尿筋過活動による膀胱機能障害(五歳以上十八歳未満の患者に係るものに限る。)	令2. 1. 1	798,040	307,600	3.0	2	1
33	36	イマチニブ経口投与及びペムプロリズマブ静脈内投与の併用療法 進行期悪性黒色腫(KIT遺伝子変異を有するものであって、従来治療法に抵抗性を有するものに限る。)	令2. 2. 1	2,851,616	2,573,976	1.0	3	2
34	37	偽腔拡大に対する血管内治療 大動脈解離(術後に偽腔が拡大したものに限る。)	令2. 2. 1	3,683,260	661,280	11.5	2	1
35	38	糞便微生物叢移植 再発性Clostridioides difficile関連下痢症・腸炎	令2. 3. 1	-	-	-	0	-
36	39	周術期デュルバルマブ静脈内投与療法 肺尖部胸壁浸潤がん(化学放射線療法後のものであって、同側肺門リンパ節・縦隔リンパ節転移、同一肺葉内・同側の異なる肺葉内の肺内転移及び遠隔転移のないものに限る。)	令2. 3. 1	125,397,730	102,362,544	4.6	18	11
37	40	マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(非小細胞肺癌、乳がん、胃がん、大腸がん、膵がん又は胆道がんに限る。)	令2. 4. 1	159,571,356	47,200,000	8.0	93	3
38	41	肺動脈自律神経叢除神経療法 肺高血圧症(薬物療法に抵抗性を有するものに限る。)	令2. 6. 1	8,840,550	164,650	16.0	6	1
39	42	腎血管筋脂肪腫に対する腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるものに限る。)	令2. 10. 1	9,964,579	4,614,394	4.9	18	6

整理番号	告示番号	技術名	適用年月日	総合計(円)	先進医療総額(円)	平均入院期間(日)	年間実施件数(件)	実施医療機関数(機関数)
40	43	内視鏡的エタノール局所注入療法 脾神経内分泌腫瘍(長径が一・五センチメートル以下のものに限る。)	令2. 10. 1	9,592,971	2,586,655	6.3	21	5
41	44	遺伝子組換え活性化型血液凝固第Ⅶ因子製剤静脈内投与療法 脳出血(発症から二時間以内のものに限る。)	令2. 11. 1	-	-	-	0	-
42	45	マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	令2. 12. 1	104,721,702	88,172,022	0.2	149	19
43	46	抗腫瘍自己リンパ球移入療法 子宮頸がん(切除が不能と判断されたもの又は術後に再発したものであって、プラチナ製剤に抵抗性を有するものに限る。)	令3. 1. 1	10,604,337	7,624,707	19.5	2	1
44	47	メトホルミン経口投与及びテモゾロミド経口投与の併用療法 膠芽腫(初発のものであって、テモゾロミド経口投与及び放射線治療の併用療法後のものに限る。)	令3. 2. 1	2,966,033	112,873	-	10	2
45	48	シクロホスファミド静脈内投与療法 成人T細胞白血病(末梢血幹細胞の非血縁者間移植が行われたものに限る。)	令3. 3. 1	29,490,103	138,003	70.3	3	2
46	49	人工内耳植込術 一側性感音難聴(高度又は重度のものに限る。)	令3. 4. 1	12,200,312	3,645,548	8.1	34	1
47	50	腫瘍治療電場療法 膠芽腫(当該疾病が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、 TENT上に位置するものに限る。)	令3. 4. 1	468,605	76,215	-	2	1
48	51	マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(食道がん、胃がん、大腸がん、膵がん、胆道がん、肺がん、乳がん、卵巣がん若しくは子宮がん又は悪性黒色腫であって、化学療法又は放射線治療を行っていないものに限る。)	令3. 5. 1	151,870,740	80,137,350	5.2	171	6
49	52	自家骨髄単核球移植による血管再生治療 全身性強皮症(難治性皮膚潰瘍を伴うものに限る。)	令3. 7. 1	-	-	-	0	-
50	53	シスプラチン静脈内投与及び強度変調陽子線治療の併用療法 頭頸部扁平上皮がん(喉頭がん、中咽頭がん又は下咽頭がんであって、ステージがⅡ期(p16陽性中咽頭がんに限る。)、Ⅲ期又はⅣ期のものに限る。)	令3. 9. 1	49,232,287	33,756,000	26.2	15	3
51	54	テネクテプラーゼ静脈内投与療法 脳梗塞(発症から四・五時間以内のものに限る。)	令3. 9. 1	9,012,198	849,876	22.7	3	1
52	55	遺伝子パネル検査による遺伝性網膜ジストロフィーの遺伝子診断 遺伝性網膜ジストロフィー	令3. 10. 1	39,469,530	38,275,900	-	100	2
53	56	アスピリン経口投与療法 家族性大腸腺腫症	令3. 12. 1	-	-	-	0	-
54	57	自己骨髄由来培養間葉系細胞移植による完全自家血管新生療法 閉塞性動脈硬化症(血行再建術が困難なものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	令4. 4. 1	-	-	-	0	-
55	58	ラメルテオン経口投与療法 悪性腫瘍(六十五歳以上の患者に係るものに限る。)	令4. 4. 1	1,193,534	49,324	14.3	44	1
56	59	ペバシズマブ局所注入療法 重症未熟児網膜症	令4. 4. 1	-	-	-	0	-
57	60	反復経頭蓋磁気刺激療法 うつ病(急性期において当該療法が実施された患者に係るものであって、薬物療法に抵抗性を有するものに限る。)	令4. 5. 1	-	-	-	0	-
58	61	セボフルラン吸入療法 急性呼吸窮迫症候群(従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)	令4. 5. 1	-	-	-	0	-
合 計				1,296,031,777	566,493,641	/	1,545	188